

うれしい気持ちでいっぱい…

信者の皆さんといっしょに創立50周年の記念日を準備してきましたが、数え切れないほどの、うれしいことがいっぱいありました。何をするにも聖霊の導きがありました。わたしたちが考え、計画した以上のことが実現していきました。不思議なことがたくさんありました。でも、それは、考えてみれば当たり前のことでもありました。「神さまだったらそうするはず…」ということに、いつも後で気づかされました。人の知恵は取るに足りないものにも思えますが、善意があれば、神さまはその知恵を基にして何倍も素晴らしいことをなさいます。



アヘン戦争以前のものと思われる十字架

二年前から意識して創立記念日を準備してきましたが、その日が近づくにつれて「すごい」ことがどんどん起こってきました。教会内外のいろんな方が、やさしい気持ちでこの日を準備してくださいました。神さまが人を導いて、ご自分がしたいことをなさっているように思えました。それらのことをすべて書き留めるとするなら、分厚い一冊の本ができるでしょう。

たくさんの寄贈品が届きました…。素晴らしい長椅子、きれいなステンドグラス、いい色の内陣の石、聖堂入口の気品のある扉、輝く音が出るオルガンのスピーカーとそのボックス、侍者服…その他、数え上げることがで

きないほどのたくさんの素晴らしいものをいただきました。祝賀会のためにも献品を山ほどいただきました。また、多くの方々から献金もいただきました。すべて無名の皆さんです。名前を出さないなら献金させていただきます…とって持ってきてくださいました。

聖堂改装に協力された行橋・豊津の信者の皆さん、設計の江村広光さん、工務店の肥喜里雄二さんとその仲間のみなさん、九十九伸一さんと彼を紹介してくださった溝田美恵子さん。ステンドグラスを制作してくださった松尾雄一さん、アヘン戦争時代のものといわれる十字架をくださった長谷川幸司さん。記念ミサで奉仕してくださった皆さん、特にバンドで祈りを支えてくれた若者の皆さん。その他、たくさんの皆さんが陰になり、日なたになりこの記念の日を作り上げてくださいました。ここにお名前を挙げた皆さんも知られることを好まれない方々です…。

お一人お一人のうれしい顔をみれたのがわたしのなによりの喜びでした。これからの行橋教会に神さまは大きな期待をされています。

神さまのみが讃えられますように…!!!



外部スピーカーを納めたオリジナルのボックス